

令和4年度 小学校教員向け環境教育研修会 実施報告

「やってみよう！環境学習プログラム」

第1回「小学校の校庭で自然体験（区部）」（テーマ：自然・生活）

□実施日時 令和4年7月26日（火） 9時30分～12時00分

□実施場所 中野区立桃花小学校校庭

□実施内容

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. 講師からの講義・体験

（講師：NPO法人自然環境アカデミー 谷村春樹氏）

（1）環境学習のポイント ～体験の重要性～

身近にある自然を感じる事が大切である。見て、触って、においをかいで、感じることで、いろいろなものに興味を持つ。先生が教えるのではなく、生徒が見つげてくるものや感じることを褒めて、伸ばすようにしてみる。

今回は一番身近な校庭で、いつも見ている植物をじっくり観察し、生徒になった気持ちで、自然を感じてみる。

（2）それぞれの活動

<リアル>

① 自分で選んだ植物の観察

雨のため、校庭での自然観察と中止した。事前に講師が選定した校庭の植物の枝や葉を先生方が自分で選び、観察・スケッチした。



② 動画による植物の観察

事前に撮影した動画を視聴し、自分が選んだ植物と配布した「植物観察シート」にある植物を校庭のどのあたりに生えているのか探した。



<オンライン>

① 動画による植物の観察

事前に撮影した校庭の植物の動画を視聴し、植物観察シートにある植物を探した。また、植物シートの中心の「面白い形の葉っぱ」を各自で決め、スケッチした。



② 情報共有

植物シートの植物をどこで見つけたか確認し、さらに各自見つけた「面白い形の葉っぱ」についての意見やスケッチを共有した。



(3) まとめ（質疑応答及び受講者同士の情報交換）〈オンライン・リアル合同〉

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、グループごとに発表し、受講者で情報を共有した。



(発表意見の例)

- ・ 選ぶ際の決め方や、植物への感じ方が皆さん違っていたので驚いた。
- ・ いつもある植物も、じっくり観察すると違いや初めて知ることが出てくるのが分かった。
- ・ 校庭に植物が少なく、また学校の周りにも自然がない。自分も自然体験をした経験が少ない。子どもたちに環境教育を行う上で、今回の体験を活かしていきたい。
- ・ 総合の時間の中で何をするか、引き出しを増やすために参加した。
- ・ 雨の際の環境学習も今回の様に工夫すればできるということが分かった。晴れた日に観察した植物を校庭へ探しに行くなど、新たな展開もイメージできた。

3. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

アンケート提出後、解散